



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 セグエグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3968 URL <https://segue-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 愛須 康之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 福田 泰福

TEL 03-6228-3822

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

2023年9月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	9,058	50.9	627	90.0	603	31.4	407	2.2
2022年12月期第2四半期	6,003	2.0	330	32.2	458	57.7	416	129.3

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 422百万円 (104.3%) 2022年12月期第2四半期 405百万円 (150.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	36.37	36.03
2022年12月期第2四半期	37.29	36.89

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	11,709	3,924	32.9
2022年12月期	11,252	3,685	32.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 3,853百万円 2022年12月期 3,603百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		15.00		18.00	18.00
2023年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	15.2	1,000	10.3	1,000	4.8	679	8.6	60.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	11,715,191 株	2022年12月期	11,687,541 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	498,960 株	2022年12月期	500,889 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	11,211,958 株	2022年12月期2Q	11,177,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年8月25日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの影響は収束が進むものの、世界的な金融引締め、ウクライナ情勢の長期化や円安による資源や物価の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するIT業界におきましては、製品価格の上昇などが引き続き懸念されますが、デジタルトランスフォーメーション（DX）関連投資への意欲増大により、積極的なIT投資を行う企業が多いことが期待されます。また、サイバー攻撃が増え続けていることから、セキュリティへの投資も堅調に推移することが見込まれます。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間におけるプロダクトの販売につきましては、DXインフラの販売が大幅に増加し、加えて納期遅延の改善が進んでおります。サービスの販売につきましては、好調なプロダクト販売に付随して設計及び構築サービス（プロフェッショナルサービス）、サポートサービスが増加いたしました。また、ジェイズ・テクノロジー株式会社は、DX化支援の強化を目的としてDXセンターを東京と福岡に開設いたしました。

当第2四半期連結累計期間におけるソリューションプロダクト事業の売上高は5,795,108千円と前年同四半期と比べ2,163,555千円(59.6%)の増収、ソリューションサービス事業の売上高は3,263,053千円と前年同四半期と比べ891,125千円(37.6%)の増収となり、連結売上高は9,058,162千円と前年同四半期と比べ3,054,680千円(50.9%)の大幅な増収となりました。売上総利益につきましても、2,083,890千円と前年同四半期と比べ447,318千円(27.3%)の大幅な増収となりました。その結果、昨今の物価高を勘案しインフレ支援金を支給しながら、営業利益は627,518千円と前年同四半期と比べ2倍近く、297,254千円(90.0%)の増益となりました。経常利益は、前年同四半期では為替差益154,361千円を計上した一方で、当第2四半期連結累計期間では為替差損24,053千円を計上したものの、603,111千円と前年同四半期と比べ144,145千円(31.4%)の増益となりました。

しかしながら親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益が174,104千円あった前年同四半期と比べ、407,857千円と9,068千円(△2.2%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は11,709,348千円となり、前連結会計年度末に比べて457,209千円の増加となりました。流動資産は10,221,329千円となり、前連結会計年度末に比べて245,617千円の増加となりました。固定資産は1,488,018千円となり、前連結会計年度末に比べて211,591千円の増加となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が減少した一方、受取手形及び売掛金および前渡金が増加したこと等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券および長期差入保証金が増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は7,785,346千円となり、前連結会計年度末に比べて218,225千円の増加となりました。流動負債は6,677,978千円となり、前連結会計年度末に比べて310,974千円の増加となりました。固定負債は1,107,367千円となり、前連結会計年度末に比べて92,749千円の減少となりました。

流動負債増加の主な要因は、買掛金が減少した一方、短期借入金および前受金が増加したこと等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は3,924,001千円となり、前連結会計年度末に比べて238,984千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2023年2月13日公表の業績予想から変更はございません。今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,989,746	2,431,510
受取手形及び売掛金	2,286,253	2,897,503
電子記録債権	74,499	37,246
有価証券	117,554	126,551
棚卸資産	3,103,744	2,942,257
前渡金	860,344	1,250,145
未収入金	423,669	398,084
その他	121,582	138,164
貸倒引当金	△1,681	△133
流動資産合計	9,975,712	10,221,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,116	79,116
減価償却累計額	△34,341	△36,345
建物及び構築物(純額)	44,774	42,771
車両運搬具	7,881	8,346
減価償却累計額	△3,545	△4,195
車両運搬具(純額)	4,336	4,150
工具、器具及び備品	1,023,560	1,064,967
減価償却累計額	△860,008	△868,719
工具、器具及び備品(純額)	163,552	196,247
リース資産	44,318	50,618
減価償却累計額	△9,378	△15,608
リース資産(純額)	34,940	35,009
土地	639	639
有形固定資産合計	248,243	278,818
無形固定資産		
のれん	191,968	180,738
ソフトウェア	54,271	32,921
ソフトウェア仮勘定	10,728	40,289
その他	1,209	1,209
無形固定資産合計	258,177	255,158
投資その他の資産		
投資有価証券	343,148	452,345
長期差入保証金	132,424	183,322
繰延税金資産	155,101	174,924
保険積立金	102,633	98,717
その他	36,696	44,730
投資その他の資産合計	770,004	954,040
固定資産合計	1,276,426	1,488,018
資産合計	11,252,138	11,709,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,885,629	885,863
短期借入金	37,924	540,618
1年内返済予定の長期借入金	250,000	250,000
リース債務	10,224	12,469
未払金	158,267	93,183
未払費用	224,958	381,447
未払法人税等	337,627	257,381
未払消費税等	148,497	146,613
賞与引当金	5,275	8,819
役員賞与引当金	16,100	—
前受金	3,137,701	3,941,107
その他の引当金	2,103	1,986
その他	152,693	158,486
流動負債合計	6,367,003	6,677,978
固定負債		
長期借入金	804,500	690,300
退職給付に係る負債	245,560	263,336
株式給付引当金	55,113	61,671
長期末払金	67,568	66,598
リース債務	27,374	25,462
固定負債合計	1,200,117	1,107,367
負債合計	7,567,120	7,785,346
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	517,345	524,863
資本剰余金	289,697	297,254
利益剰余金	3,229,170	3,435,667
自己株式	△384,091	△382,603
株主資本合計	3,652,120	3,875,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,158	△24,874
繰延ヘッジ損益	△12,354	311
為替換算調整勘定	△5,884	2,882
その他の包括利益累計額合計	△48,398	△21,680
新株予約権	62,918	64,192
非支配株主持分	18,377	6,308
純資産合計	3,685,017	3,924,001
負債純資産合計	11,252,138	11,709,348

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	6,003,481	9,058,162
売上原価	4,366,909	6,974,272
売上総利益	1,636,572	2,083,890
販売費及び一般管理費	1,306,307	1,456,372
営業利益	330,264	627,518
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	81
為替差益	154,361	—
保険解約返戻金	1,387	5,742
補助金収入	2,256	948
その他	315	1,663
営業外収益合計	158,325	8,436
営業外費用		
支払利息	4,076	8,327
投資有価証券売却損	24,580	—
支払保証料	195	196
為替差損	—	24,053
株式交付費	240	167
その他	531	97
営業外費用合計	29,623	32,842
経常利益	458,966	603,111
特別利益		
投資有価証券売却益	174,104	—
特別利益合計	174,104	—
税金等調整前四半期純利益	633,071	603,111
法人税、住民税及び事業税	272,949	237,076
法人税等調整額	△56,803	△25,398
法人税等合計	216,145	211,678
四半期純利益	416,925	391,433
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△16,423
親会社株主に帰属する四半期純利益	416,925	407,857

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	416,925	391,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,586	5,283
繰延ヘッジ損益	3,728	12,666
為替換算調整勘定	—	13,121
その他の包括利益合計	△11,858	31,072
四半期包括利益	405,067	422,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405,067	434,574
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△12,068



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ITソリューション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
ソリューションプロダクト事業	3,631,553	5,795,108
ソリューションサービス事業	2,371,928	3,263,053
合計	6,003,481	9,058,162

(重要な後発事象)

該当事項はありません。